

10/31～11/1 「第4回Challenge万博」 (於：三井住友銀行本店東館) 中村修平教授 (奈良医大医学部医学科生化学講座) の講演と展示で参加

- ・“2025年大阪・関西万博”で世界から注目を集める関西主要大学のシーズと全国各地域の大学発スタートアップが東京に集結し、首都圏の企業やベンチャーキャピタルに大学発スタートアップエコシステムをPRする第4回Challenge万博が、東京大手町にある三井住友銀行本店東館で開催されました。
- ・奈良医大からは、4月に設立の「オートファジー・抗老化研究センター」センター長：中村修平教授が『オートファジー・抗老化研究の目指すもの』のタイトルで講演を行い、また展示ブースではその研究内容をポスター、チラシで紹介しました。
- ・MBTは、センター設立以来、企業と中村教授との共同研究マッチングを支援しており、展示ブースに立ち寄る企業やVC等に参加を呼びかけました。



写真①：会場にて、大阪・関西万博公式キャラクターのミャクミャクと中村修平教授
写真②：奈良医大展示ブース 全容
写真③：講演する中村修平教授

<MBTコンソーシアム通信部会報告>

11/2 東和中和南和医療圏防災会議に参加し

「通信とモビリティ活用による災害時の情報・医療の回復」案をPR



①通信衛星車
②オンライン診療車

- ・10月20日（日）奈良市で開催の奈良県防災総合訓練にMBTコンソーシアム通信部会が展示した“通信とモビリティ活用”の内容を、11月2日（土）午後、桜井市総合福祉センターで開催された表題会議で紹介する機会を得ました。
- ・表題会議は、奈良県の医療関係者や自治体有志の災害に備える勉強会的な会議です。過去の災害発生時の対応事例や先進的な医療防災の取り組み等を自主的に調査し、奈良県で大災害時に、医療関係者が連携して被災者の治療を行う際の参考にするを目的としています。
- ・当日は、MBT事務局からMBTが実施した展示概要を紹介し、その後に、
 - 1) 奈良先端科学技術大学院大学の辻井高浩氏からは、インターネット通信を回復する通信衛星車の取り組み
 - 2) 株M-aidの木下水信 代表取締役からは、医療MaaS車両を活用したオンライン診療他の取り組み
 - 3) 株タカゾノの永野貴裕氏からは、現場で薬を処方するモバイルファーマシーの取り組み
 を、講演とデモで紹介しました（写真①②）。